第2回滋賀県流域治水推進審議会
現　地　視　察

ながす

地先の安全度マップ
（基礎情報）

ためる

とどめる

そなえる

滋賀県　流域治水政策室

滋賀県流域治水の推進に関する条例の概要

平成27年3月30日完全施行

◎前文　・条例制定の背景　・流域治水を推進する意義　・条例を制定する目的

◎目的　・流域治水を総合的に推進し、もって浸水被害から県民の生命、身体および財産を保護し、将来にわたって安心して暮らすことができる安全な地域の実現に資する

◎総則
・用語の定義
・基本理念
・県、県民、事業者の責務

実現　基礎資料

◎想定浸水深の設定等
・県：流域治水に関する施策の基礎資料として、想定浸水深（地先の安全度マップ）を設定
おおむね5年ごとに設定・公表

ながす

◎河川における氾濫防止対策
・知事：管理する河川の整備を行う。（浸水により生命・身体に著しい被害を生ずるおそれがある区域では特に配慮）
河道の拡幅等を計画的・効果的に推進
流下能力を維持するための河川内樹木の伐採等
当面河道拡幅等が困難な区間における堤防の強化

ためる

◎集水地域における雨水貯留浸透対策
・森林および農地の所有者等：森林および農地の適正な保全による雨水貯留浸透機能の発揮
・公園、運動場、建築物等の所有者等：雨水貯留浸透機能の確保

とどめる

◎氾濫原における建築物の建築の制限等
・浸水警戒区域における建築規制
・区域（200年確率降雨で浸水深約3m以上の区域）は、住民・市町長・流域治水推進審議会（新設）の意見をふまえて指定
・指定区域においては、知事が想定水位以上に避難空間が確保されているかを確認した上で許可
・10年確率降雨で浸水深50cm以上の区域は市街化区域へ新たに編入しない（対策が講じられる場合を除く）
・盛土構造物の設置等の際の配慮義務

そなえる

◎浸水に備えるための対策
・県：避難に必要な情報の伝達体制を整備・市町への支援
・県民：日常生活で備えるとともに、非常時には的確に避難
・宅地建物取引業者：宅地等の売買等に情報提供
・水害に強い地域づくり協議会を組織し、浸水警戒区域の指定に関する事項や浸水被害の回避・軽減に必要な取組を検討

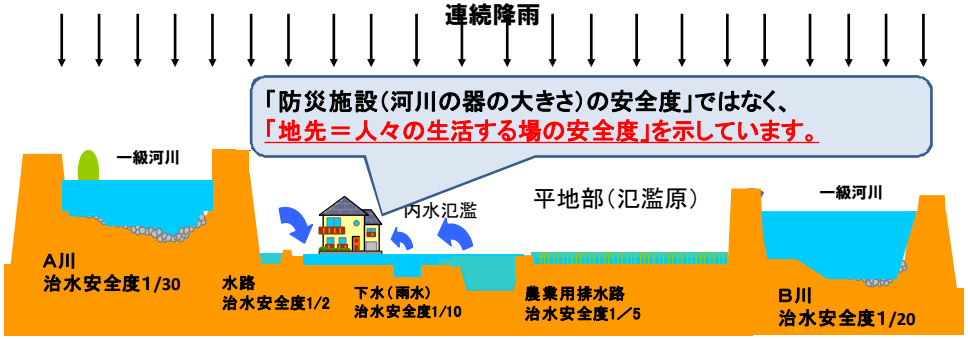
◎雑則
・財政上の措置
・施策実施状況の議会への報告
・市町条例との関係

◎罰則（当分の間適用しない）
・建築規制に関する規定に違反した者への罰則および過剰

※下線部は当初案からの主な追加・変更箇所

流域治水の基礎情報「地先の安全度マップ」（全国初。平成24年9月公表）

大河川だけではなく、身近な水路のはん濫なども考慮した浸水想定マップ（10年、100年、200年に一度の雨）



－浸水想定区域図：大きな川からのみ氾濫。他は晴天
－地先の安全度マップ：大きな川だけではなく、身近な水路も氾濫
→　実現象に近い予測が可能となった

水害に強い地域づくりについて

- 各圏域の事業等は、関係市町の主体性を尊重し、市町と県が協働で実施することを基本とします。
- 相互に連携を図り、取り組みを進めています。

圏域名	設置年月	関係市町
琵琶湖湖南	平成16年08月～	大津市・草津市・守山市・栗東市・野洲市
湖北圏域	平成19年06月～	長浜市・米原市
東近江圏域	平成20年11月～	近江八幡市・東近江市・日野町・竜王町
甲賀圏域	平成23年3月～	甲賀市・湖南市
高島地域	平成25年8月～	高島市
湖東圏域	平成27年2月～	彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町

協議会の構成

事務局
市町（会長）、国（河川事務所）
県（土木事務所、流域治水政策室）

圏域協議会 … 副市町長、学識経験者、行政委員

担当者会議 … 関係機関担当者

ワーキンググループ … 関係者、関係機関担当者

（行政機関）防災情報WG
避難勧告等判断基準

（住民＋行政）水害に強い地域づくり住民WG
地域防災力の向上
安全な住まい方等

（住民＋行政）土砂害に強い地域づくり住民WG

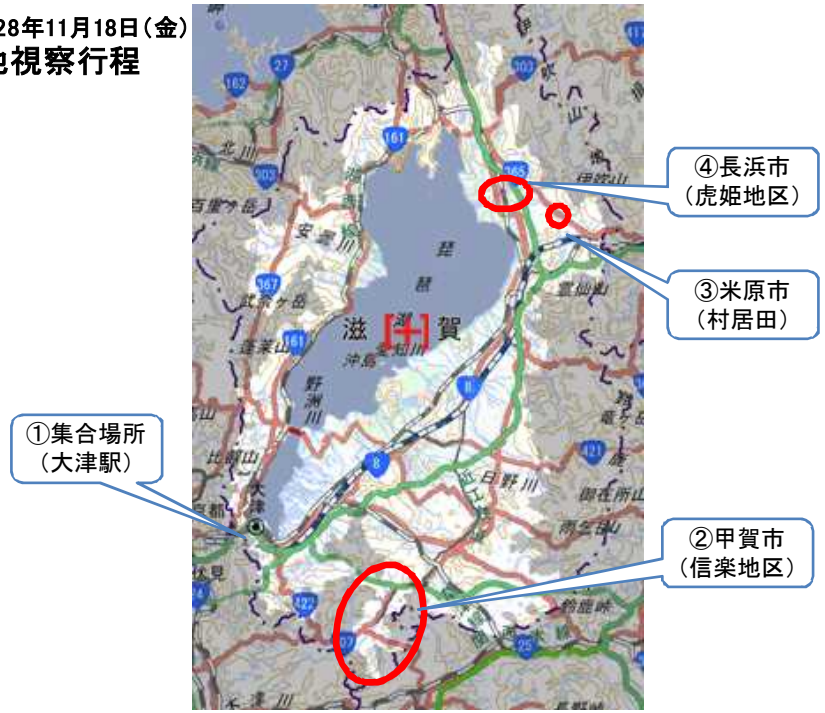
圏域協議会の全体計画
1. 水害・土砂に強い地域づくりの目標設定
2. 河川・流域の特性
地先の安全度評価、災害履歴、土砂リスク整理など
3. 現状・課題を整理
4. 「ながす」、「ためる」、「とどめる」、「そなえる」の4つの対策

担当者会議・防災情報WG
1. 「そなえる」対策
（市町の地域防災計画等、対象地域全般）
HM作成、避難勧告基準設定、地区別避難判断水位設定、避難計画検討などの支援

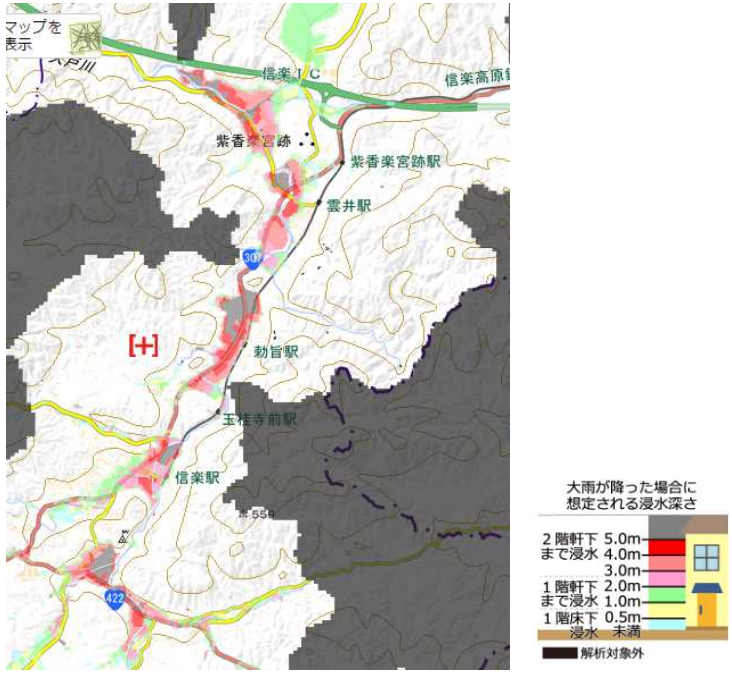
住民WG
1. 「そなえる」対策（地区避難計画）
自治会が作る具体的な避難計画を記載
「とどめる」対策（地区住まい方のルール）
はん濫が生じた場合でも命を守る対策

平成28年11月18日（金）

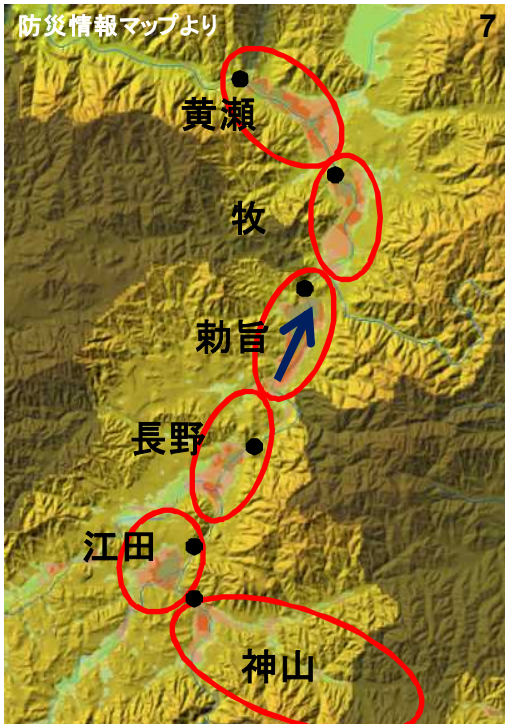
現地視察行程



①甲賀市信楽地区



旧信楽町域の地形と浸水リスクの高い地区



● 大戸川の狭窄部

甲賀市信楽町牧

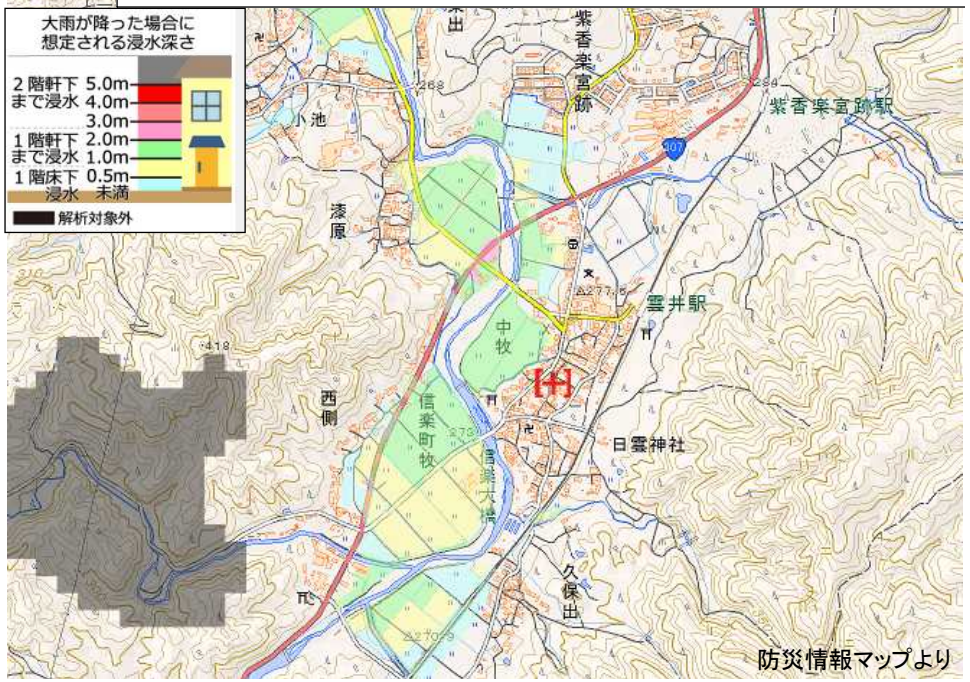
【地点リスク】

- 大戸川の信楽町牧の北側にある狭窄部上流。
- 地先の安全度マップ(1/200)は大戸川沿線を中心に**浸水深3～5m以上**。
- **山側は、土砂災害のリスクが多数**あり。

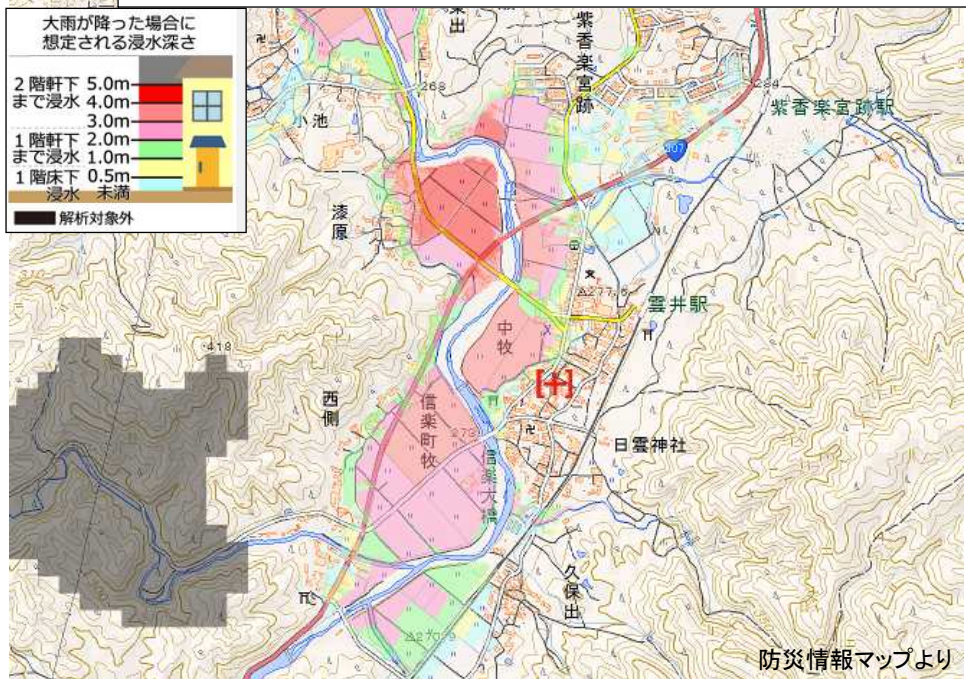
【地区の概要】

- 浸水深3～5mの範囲に**家屋が約15戸存在**する。
- 既存の避難場所として「雲井小学校」は、大戸川右岸の浸水のない区域にあるが、土砂災害の危険がある。さらに、水没家屋の多くは大戸川左岸にあるため、一時避難場所として利用については、慎重な議論が必要。
- 避難については、黄瀬地区と同様に浸水・土砂災害があり、両方のリスクを考慮した避難体制づくりが必要である。
- かさ上げにより浸水深が3m未満となっている宅地も見られることから、かさ上げ対策が可能な地域であると考えられる。

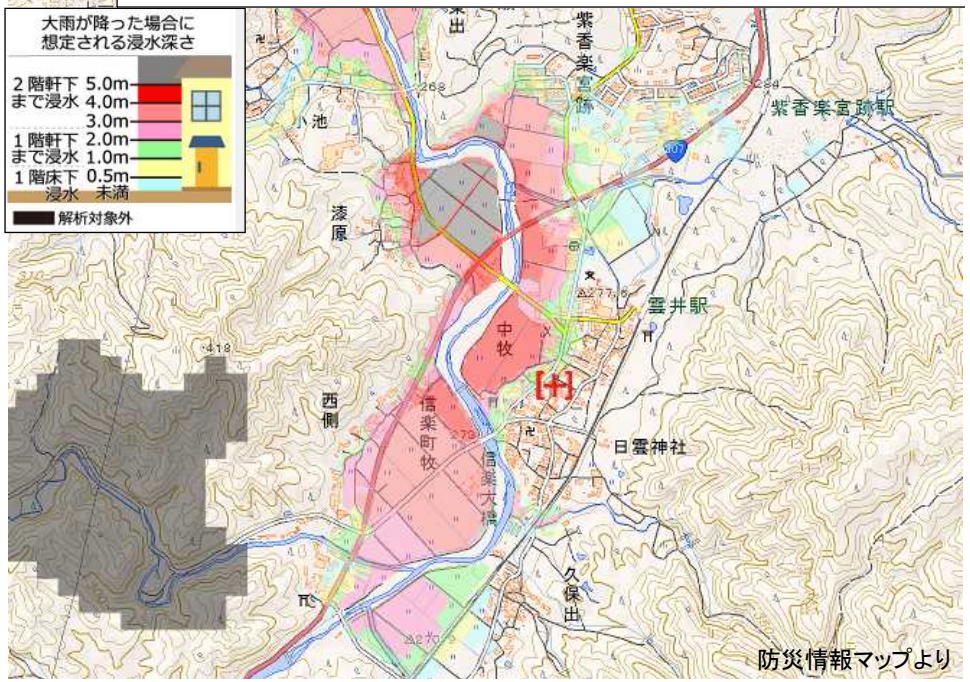
10年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量50mm） 9



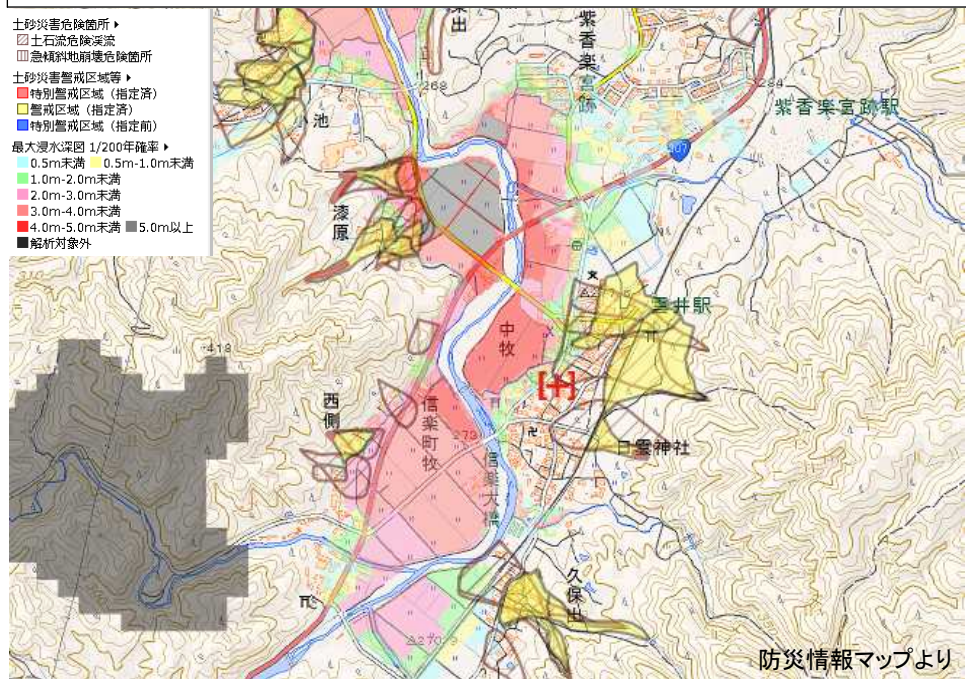
100年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量109mm） 10



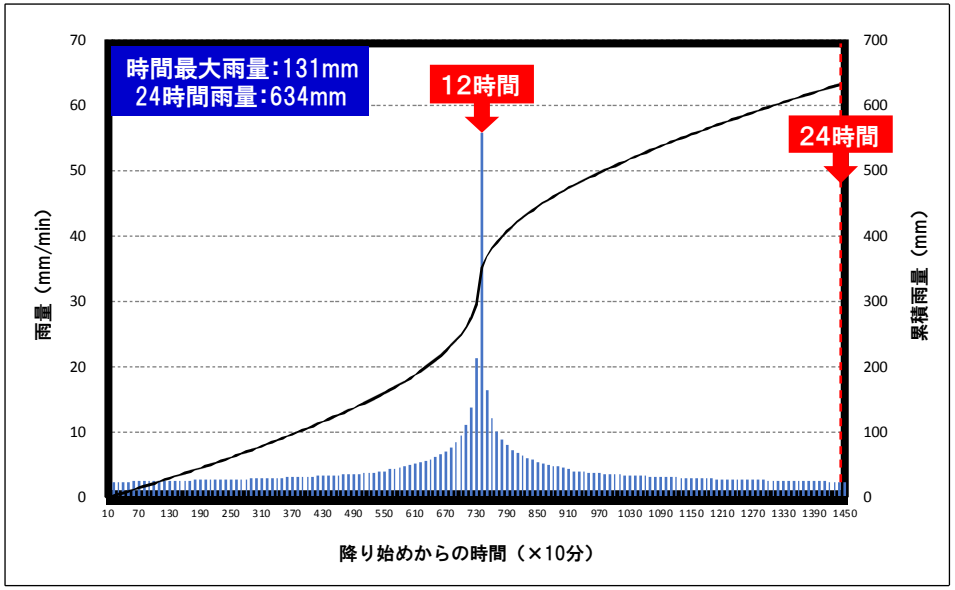
200年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量131mm） 11



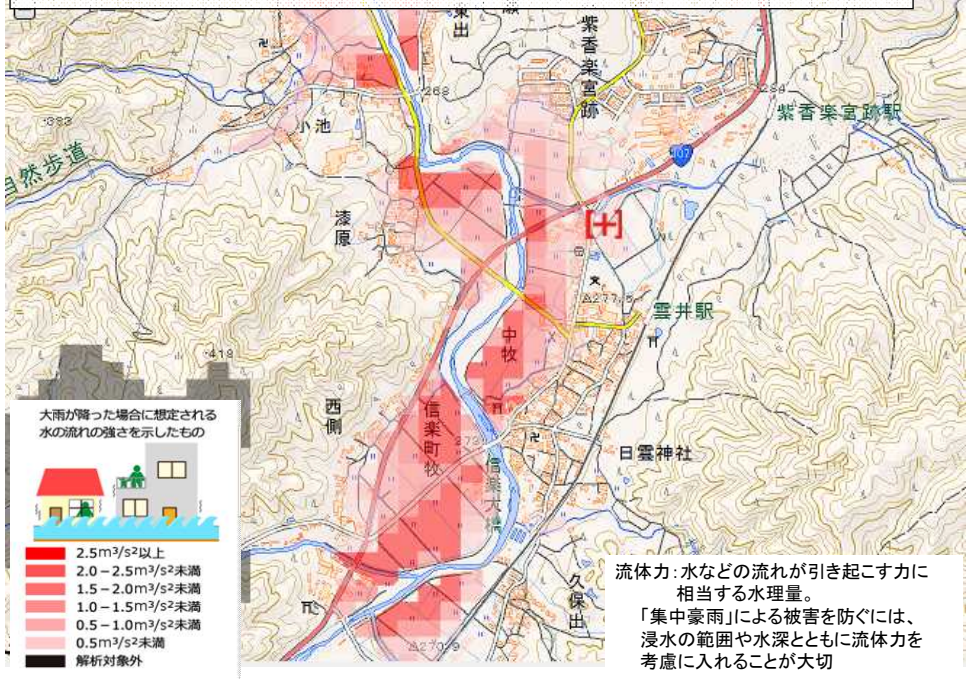
200年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量131mm）＋土砂災害12



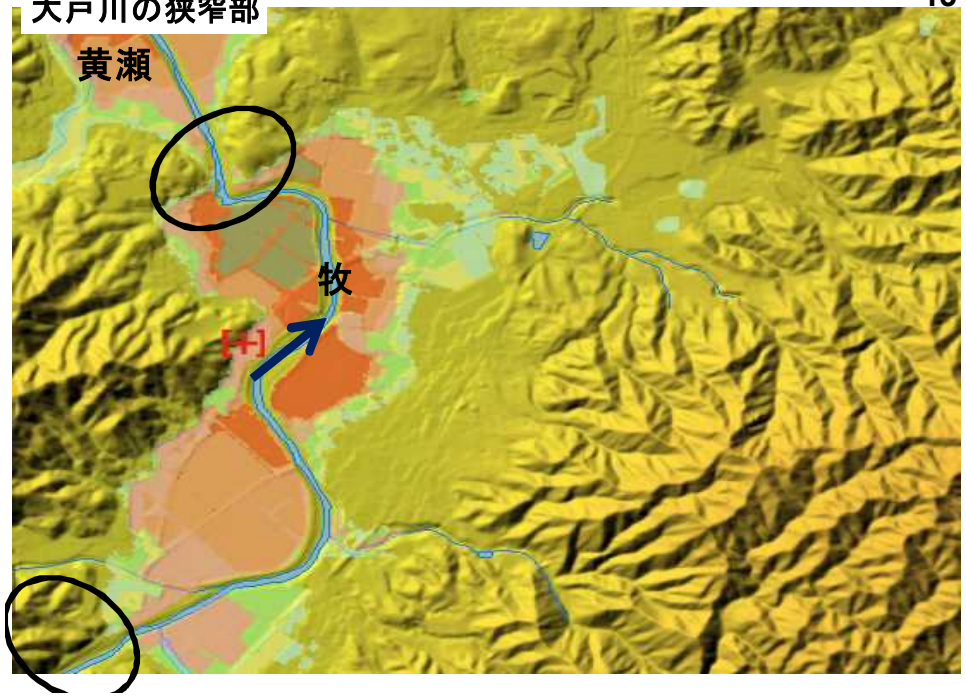
想定した大雨の時間的変化
（200年に一度の大雨：時間最大131mm程度）



地先の安全度マップ 流体力図 200年確率降雨強度（時間最大131mm程度）



大戸川の狭窄部

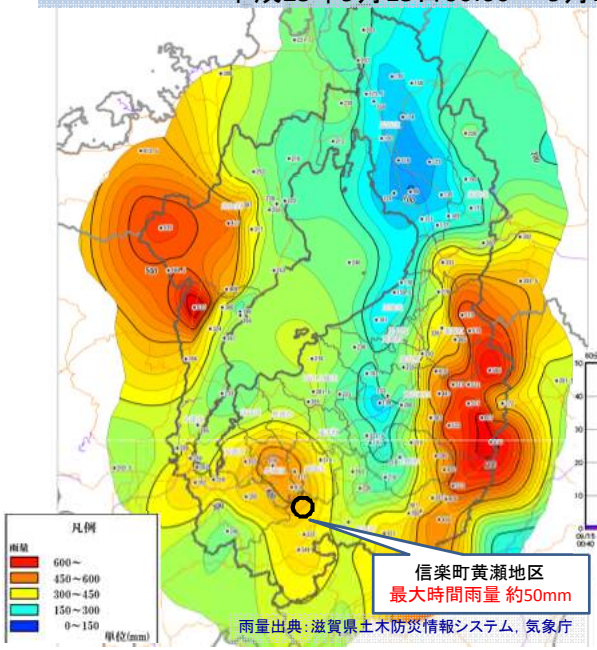


200年に一度の大雨が降った場合に想定される浸水深

信楽陶苑（たぬき村）

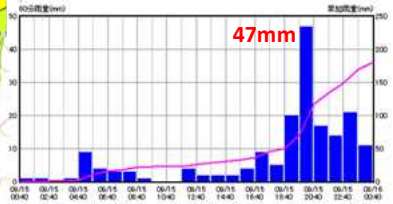
平成25年台風18号総雨量

平成25年9月15日00:00～ 9月16日24:00



滋賀県で「特別警報」が発令
(9月16日AM5:05～11:30)

最大時間雨量（mm／h）	78	神崎（東近江市）
	77	御在所（東近江市）
	67	葛川（大津市）
	47	五本松（甲賀市）
累計雨量（mm）	635	葛川（大津市）
	610	御在所（東近江市）
	607	神崎（東近江市）
	362	五本松（甲賀市）



五本松雨量観測所
（60分雨量・累加雨量グラフ）

県内

平成25年台風18号

甲賀市信楽町黄瀬の概要

【地区のリスク】
- 大戸川の信楽町黄瀬の西側にある狭窄部上流。
- 地先の安全度マップ(1/200)は大戸川沿線を中心に**浸水深3～5m以上**。
- **山側は、土砂災害のリスクが多数**あり。

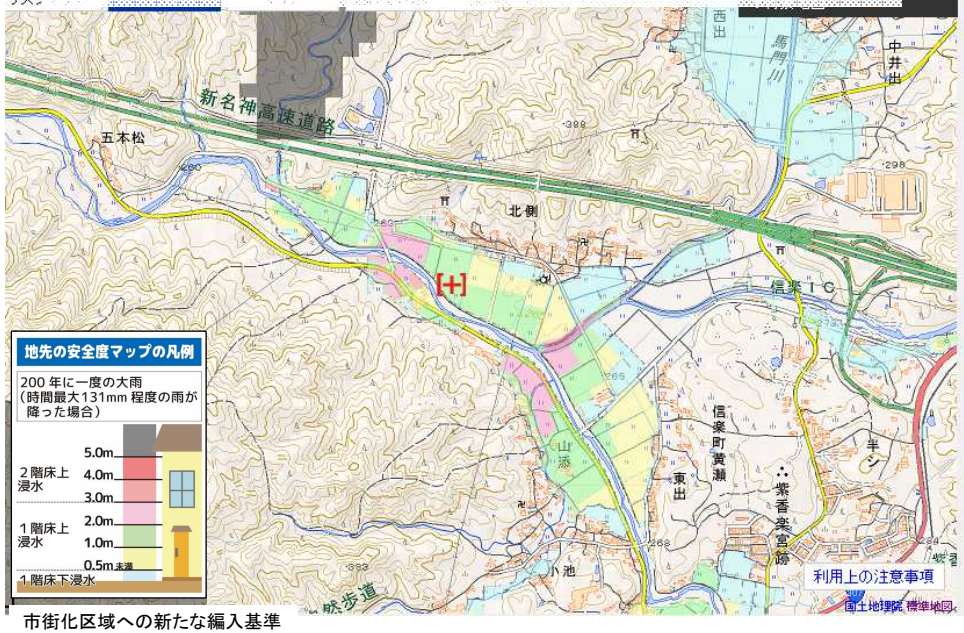
【地区の概要】
- 浸水深3～5mの範囲に**家屋が約20戸存在**する。
- 既存の避難場所として、「黄瀬交流館さらら」は平屋であるが、大戸川右岸の浸水深2～3mの区域にあるため、一時避難場所としての利用は困難である。
- 一時避難場所候補地としては、信楽荘を選定し黄瀬区と施設で覚書を交わした。また、その他に甲賀市水再生センターなどと調整を進めている。
- 避難については、浸水・土砂災害のリスクを考慮した避難体制づくりを行っている。
- かさ上げにより浸水深が3m未満となっている宅地も見られることから、かさ上げ対策が可能な地域であると考えられる。
- 平成26年度より取組を開始。

200年に一度の大雨が降った場合に想定される浸水深

黄瀬交流館"さらら"

地先の安全度マップ 最大浸水深図 10年確率降雨強度（時間最大50mm程度）

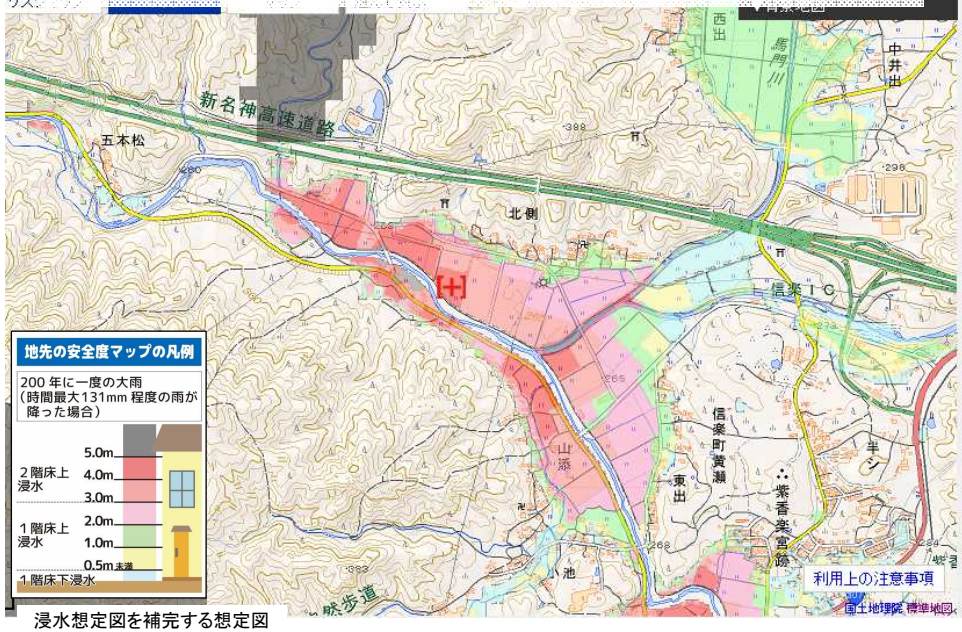
http://shiga-bousai.jp/dmap/map/index



市街化区域への新たな編入基準

地先の安全度マップ 最大浸水深図 100年確率降雨強度（時間最大109mm程度）

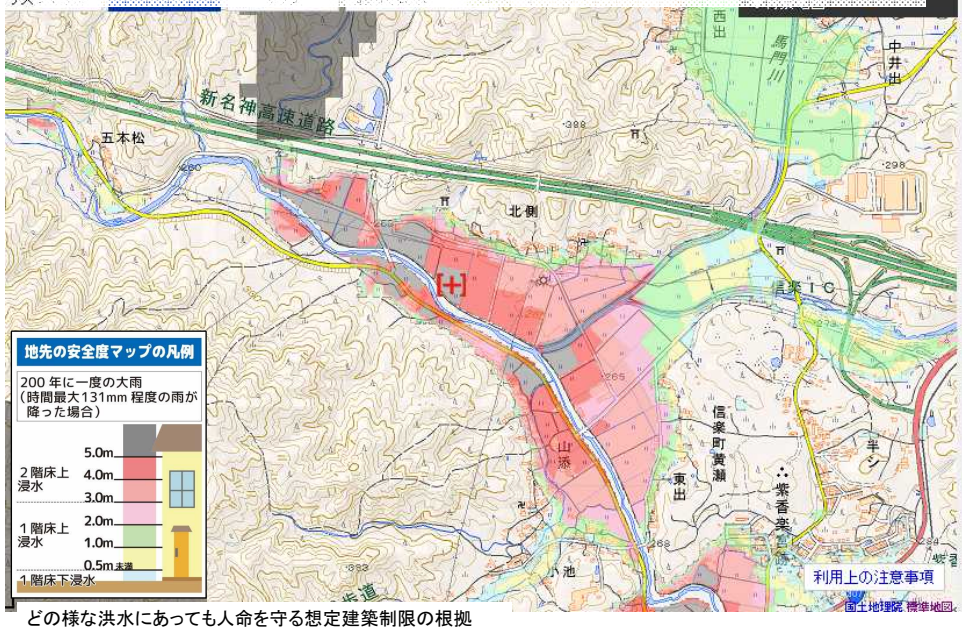
http://shiga-bousai.jp/dmap/map/index



浸水想定図を補完する想定図

地先の安全度マップ 最大浸水深図 200年確率降雨強度（時間最大131mm程度）

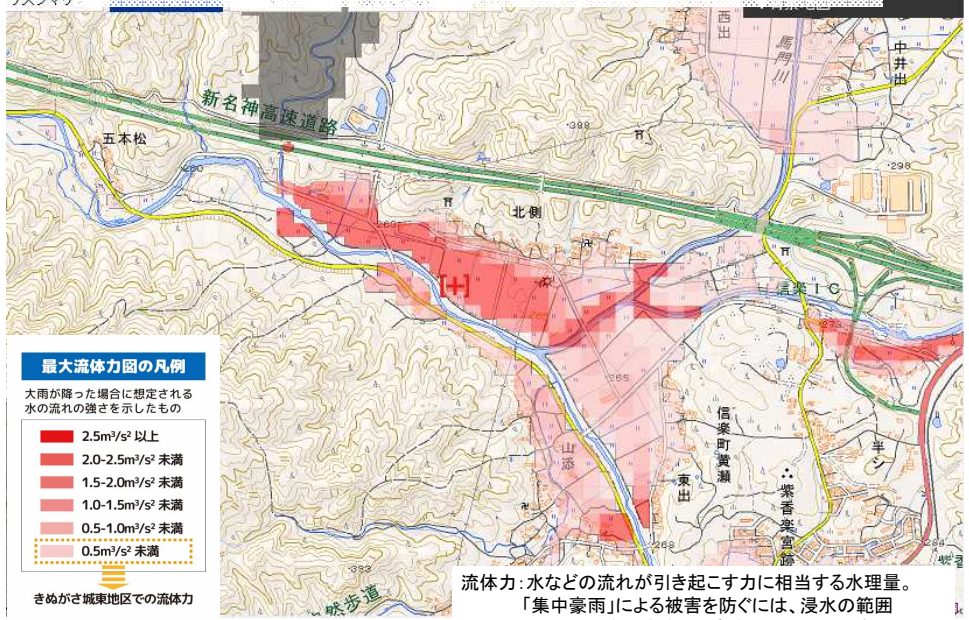
http://shiga-bousai.jp/dmap/map/index



どの様な洪水にあっても人命を守る想定建築制限の根拠

地先の安全度マップ 流体力図 200年確率降雨強度（時間最大131mm程度）

http://shiga-bousai.jp/dmap/map/index

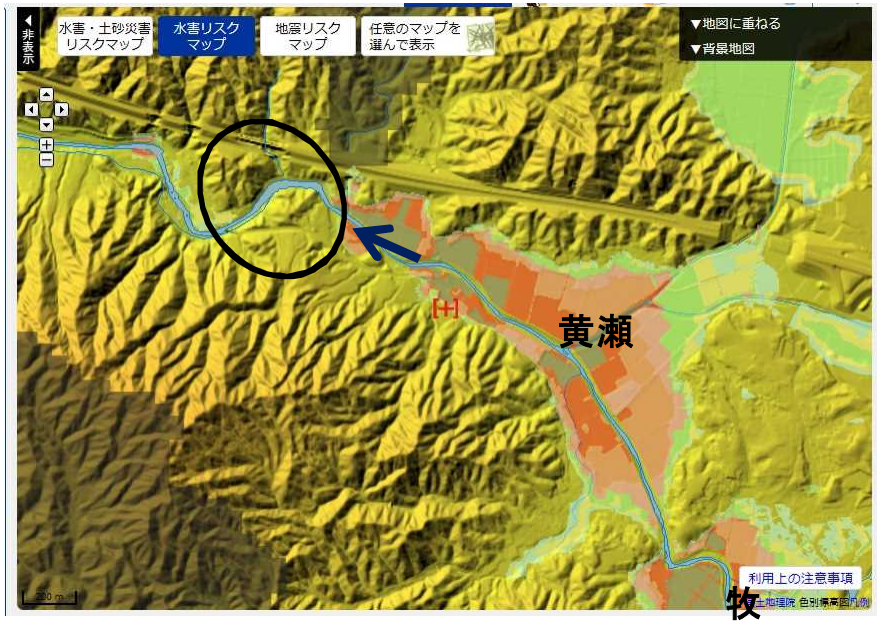


流体力：水などの流れが引き起こす力に相当する水理量。
「集中豪雨」による被害を防ぐには、浸水の範囲や水深とともに流体力を考慮に入れることが大切

平成25年9月16日台風18号　信楽町黄瀬

大戸川沿川を中心に浸水被害が発生しました

大戸川の狭窄部



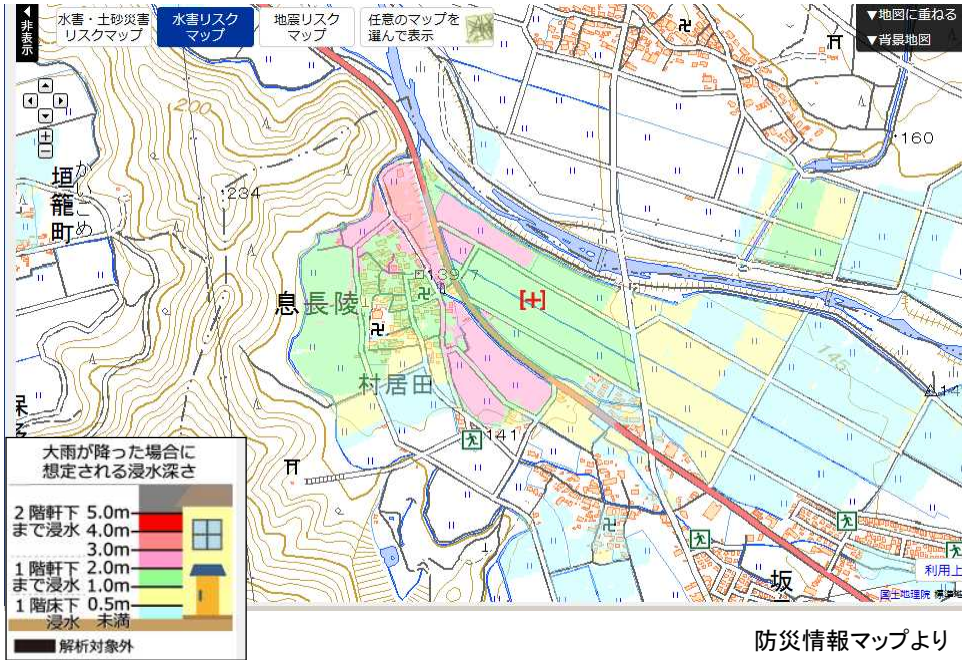
米原市村居田

【地区のリスク】
- 姉川左岸に村居田地区があり、地先の安全度マップ(1/200)は**3～5mの浸水**。
- 約20家屋が区域内にある。

【地区の概要】
- 浸水深3～5mの範囲に**家屋が約20戸存在**する。
- 姉川と西側山地に挟まれた区域。
- 避難所に「龍が鼻会館」が指定されている。
- 「龍が鼻会館」は浸水深0.1m以下の区域にあり、避難場所として問題はないが、浸水深3m超区域の北端からは400～500mの距離がある。
- 一時避難場所として、光運寺を利用することを検討する。
  （だたし、浸水深が1～2mある区域であり、検討が必要）

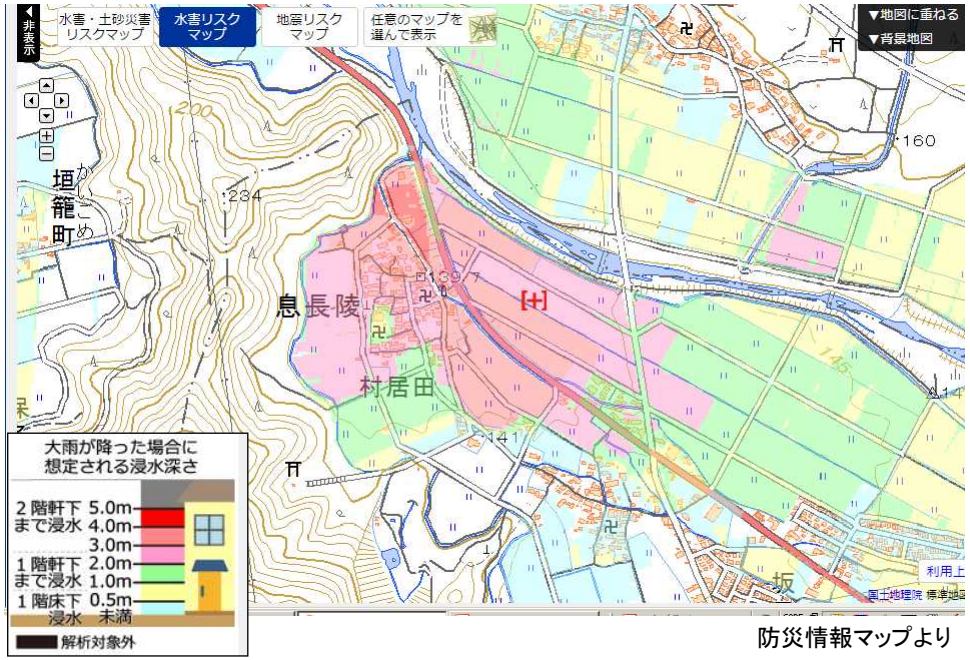
200年に一度の大雨が降った場合に想定される浸水深 30

10年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量50mm） 31



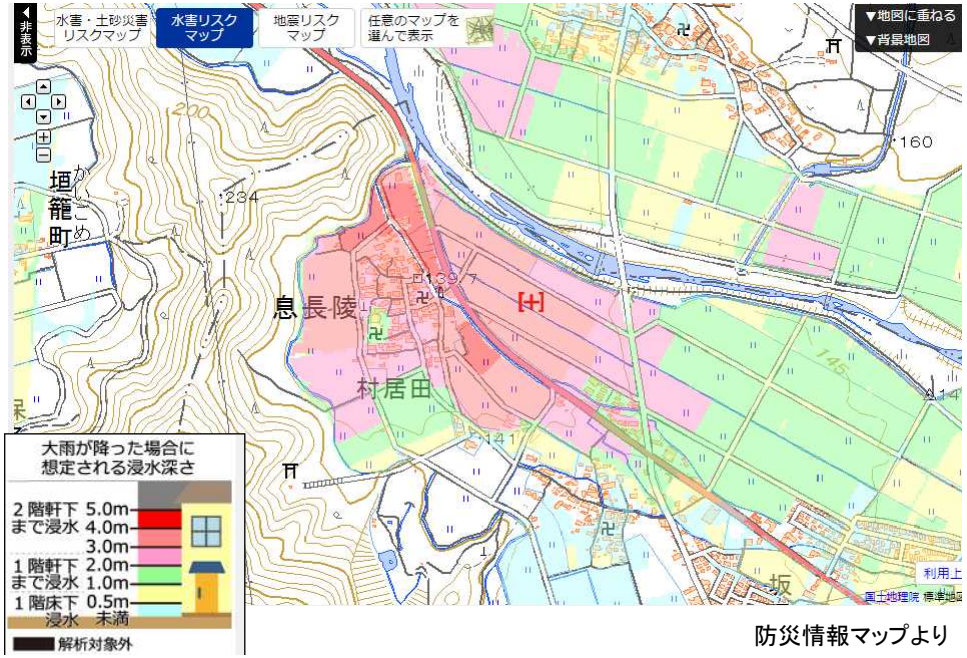
防災情報マップより

100年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量109mm） 32



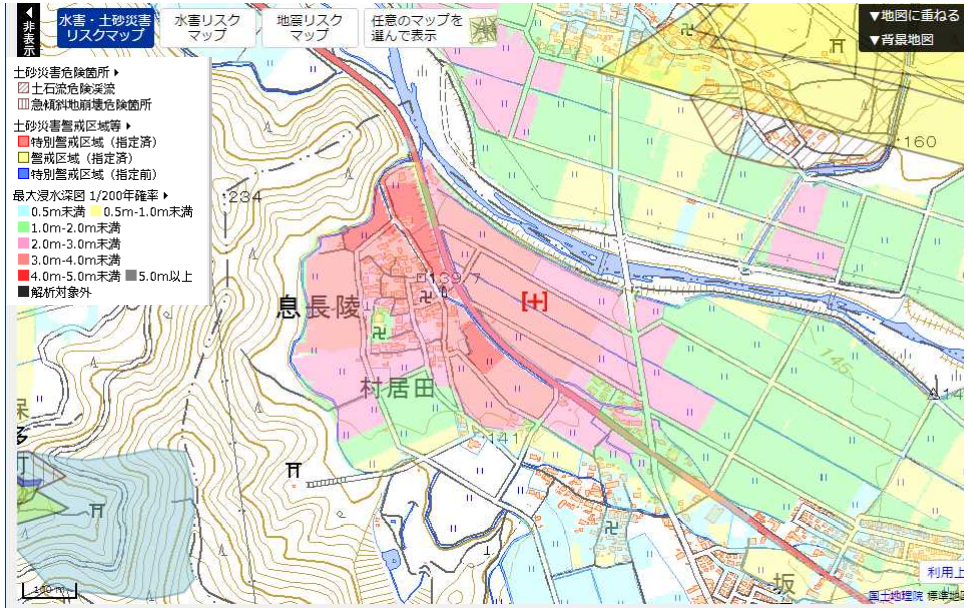
防災情報マップより

200年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量131mm） 33



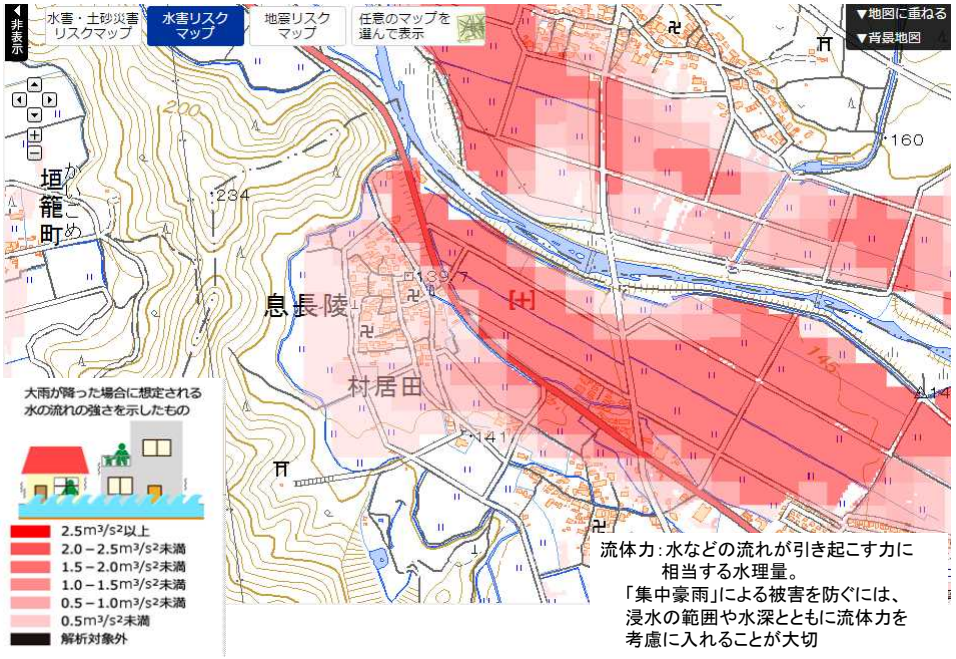
防災情報マップより

200年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量131mm）＋土砂災害34



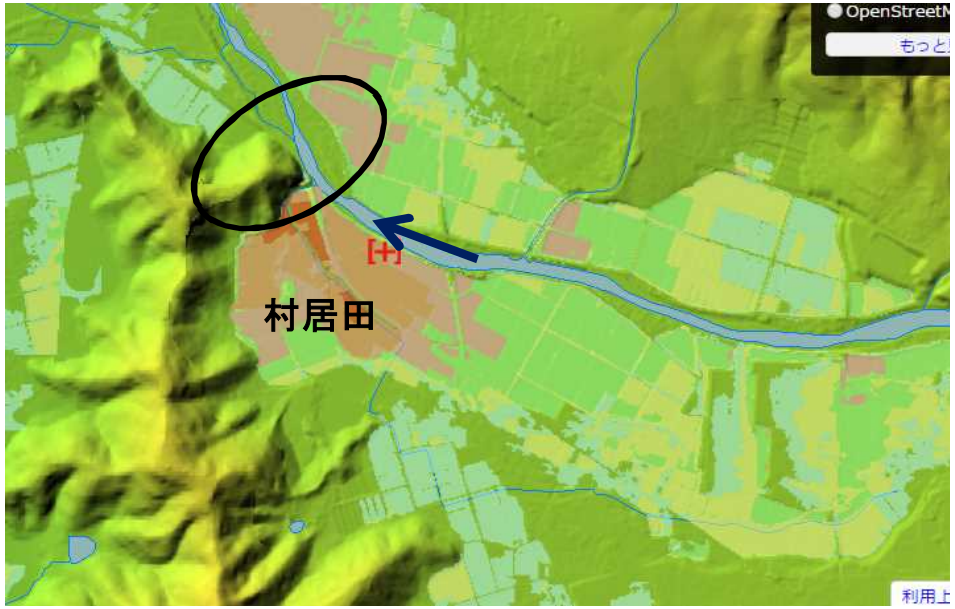
防災情報マップより

地先の安全度マップ 流体力図 200年確率降雨強度（時間最大131mm程度） 35



流体力：水などの流れが引き起こす力に相当する水理量。
「集中豪雨」による被害を防ぐには、浸水の範囲や水深とともに流体力を考慮に入れることが大切

姉川の狭窄部（山と国道、堤防） 36



長浜市虎姫地区

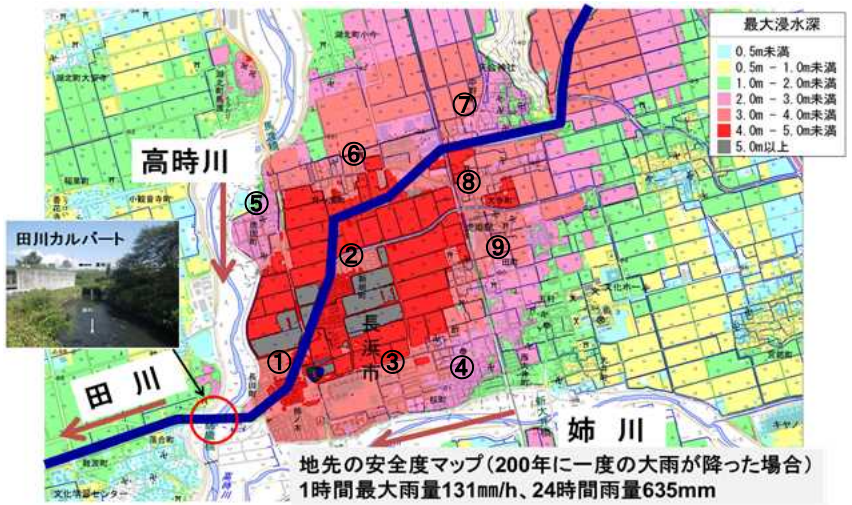
【地区のリスク】

- 姉川・高時川の合流部。姉川・高時川の間に田川と七縄川が流れる。
- 地先の安全度マップ(1/200)は**3～5m超の浸水**。

【地区の概要】

- 姉川・高時川の間の平野が田川と七縄川で分割され、さらにJR北陸本線の盛土により東西に分割されている。このため、既存避難場所が有効に使えない場合がある。
  （大寺・月ヶ瀬の田川・七縄川間、田町のJR北陸本線西側）
- 自治会館が既存避難場所となっていることが多いが、平屋建てで水害に備える避難場所としては不適切な場合がある。また、2階建てでも浸水深との関係を調査することが必要。
- 嵩上げを実施している集落も多い。住宅密集のために嵩上げが不可能である区域はごく限られる。
- **浸水する範囲が広く、範囲内に多数の住宅**があるため、「そなえる対策」として広域的な避難体制が非常に重要。
- また、逃げ遅れる人が発生する可能性は他の地区より高い。「とどめる対策」としては、各住宅で嵩上げをすることが望ましい。
- 県道丁野虎姫長浜線が開通したことにより、周辺の開発圧力が高まる可能性がある。

地先の安全度マップ（虎姫地区に潜む水害リスク）



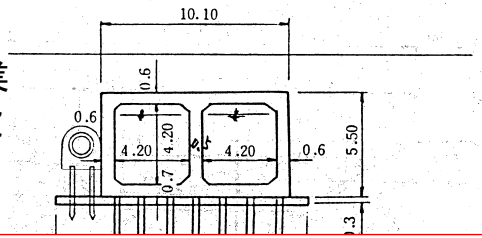
このマップは1時間に最大131mm　24時間に635mmの雨（1/200年確率降雨）が県下全域に降った時の最大浸水深を表したものです。
滋賀県ホームページより。

明治時代にカルバートがつくられましたが、浸水の被害はつづきました。

田川カルバート（昭和41年竣工）

昭和41年に現在のカルバートが出来ました。

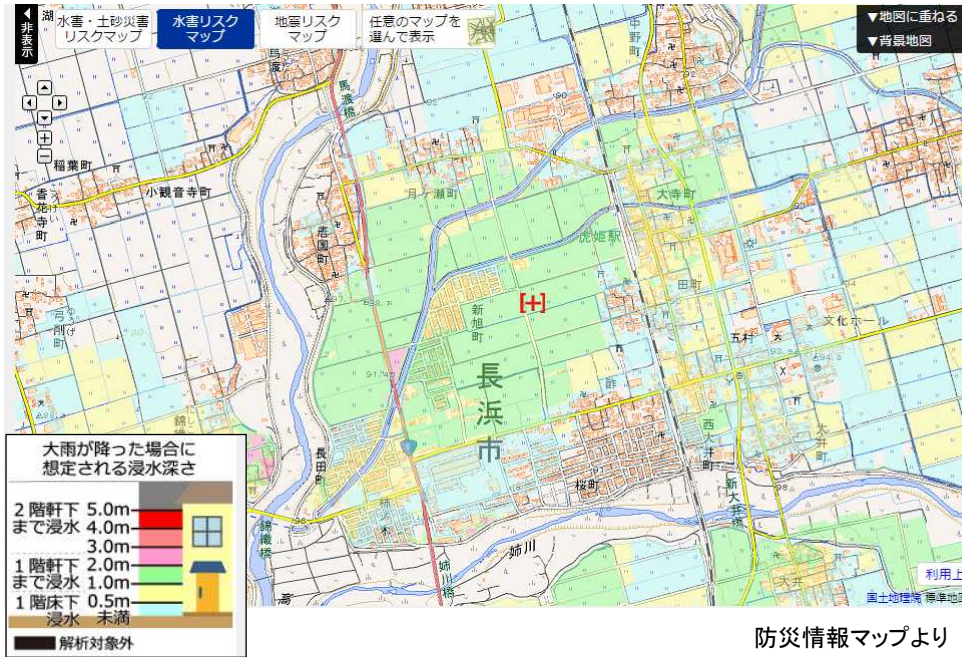
・ 田川中小河川改修事業で田川カルバートが新設される。
（昭和38～41年）



現在のカルバートが作られ、水害の頻度は下がったが、カルバートで呑みきれない水がやってくると依然として大きな水害のリスクが残っている。

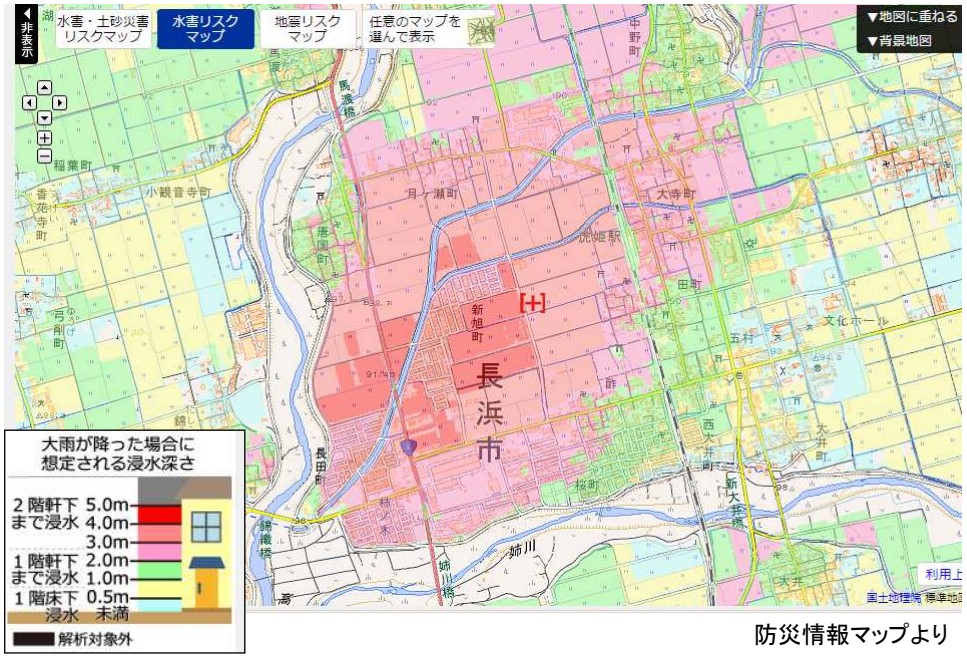
200年に一度の大雨が降った場合に想定される浸水深41
虎姫地区の浸水想定イメージ

10年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量50mm） 42



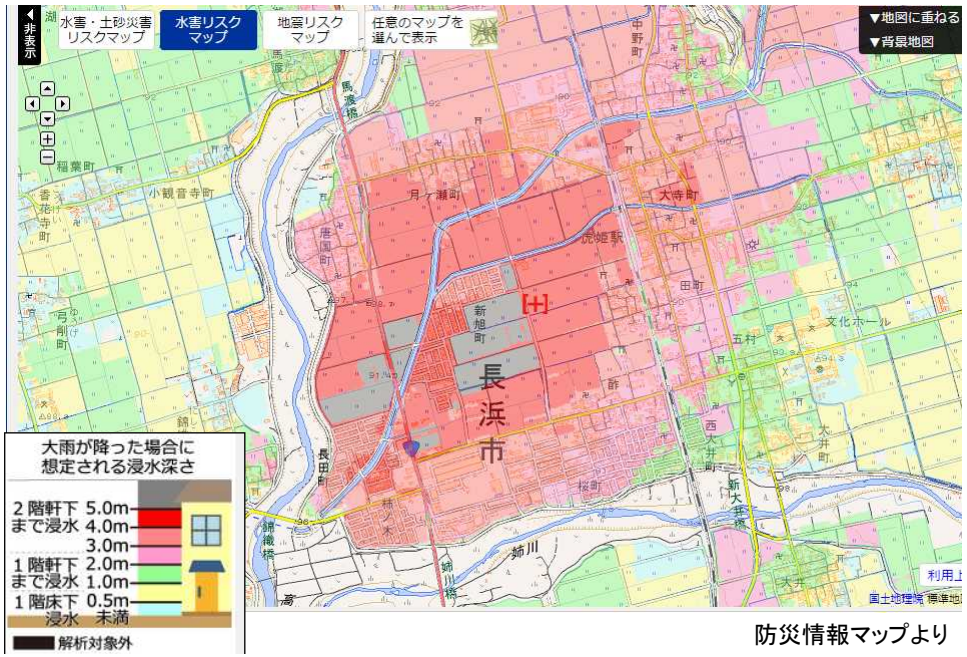
防災情報マップより

100年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量109mm） 43



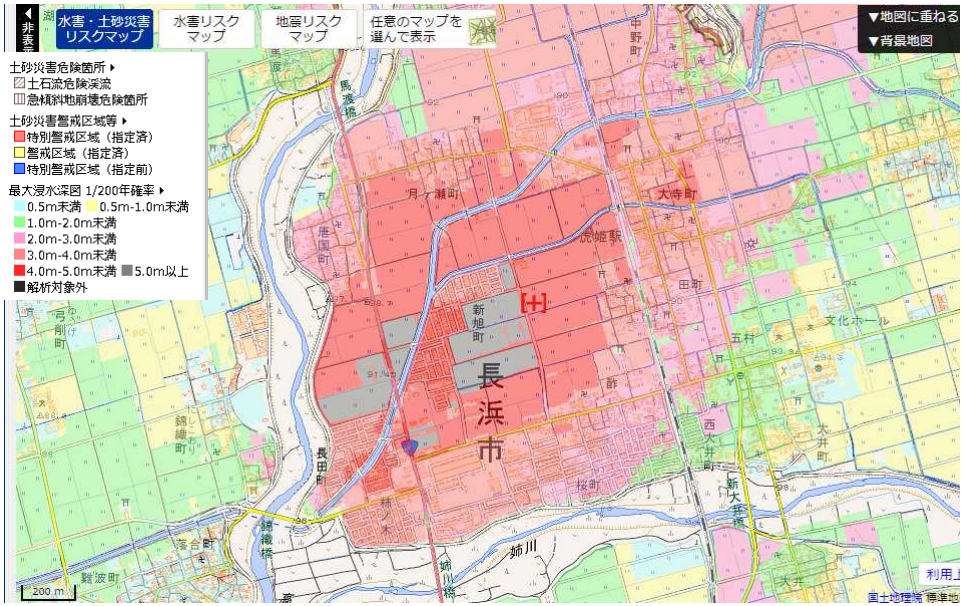
防災情報マップより

200年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量131mm） 44



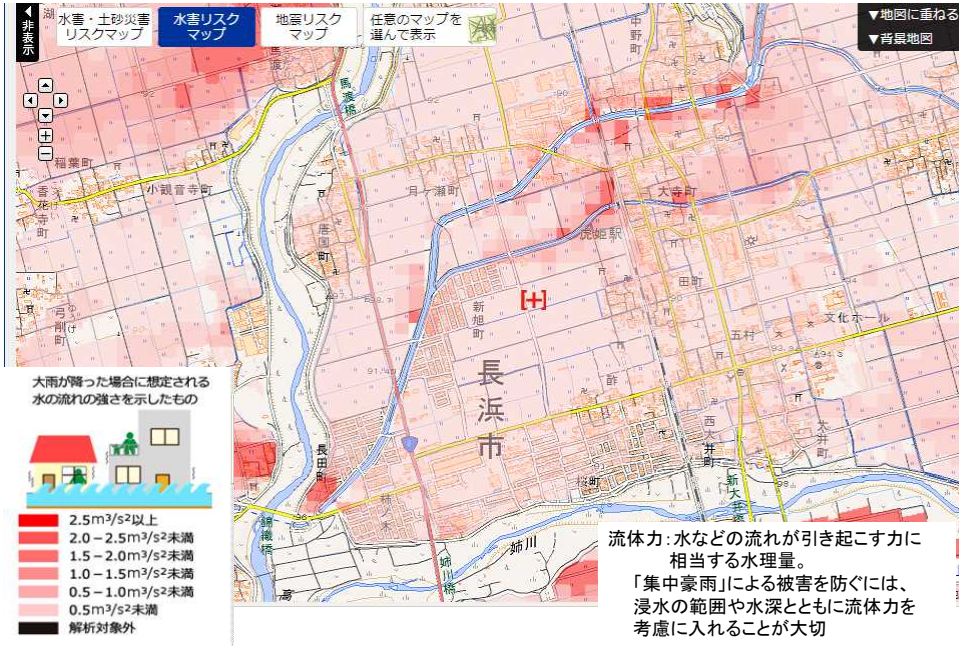
防災情報マップより

200年確率降雨時の浸水想定深図（時間雨量131mm）＋土砂災害45

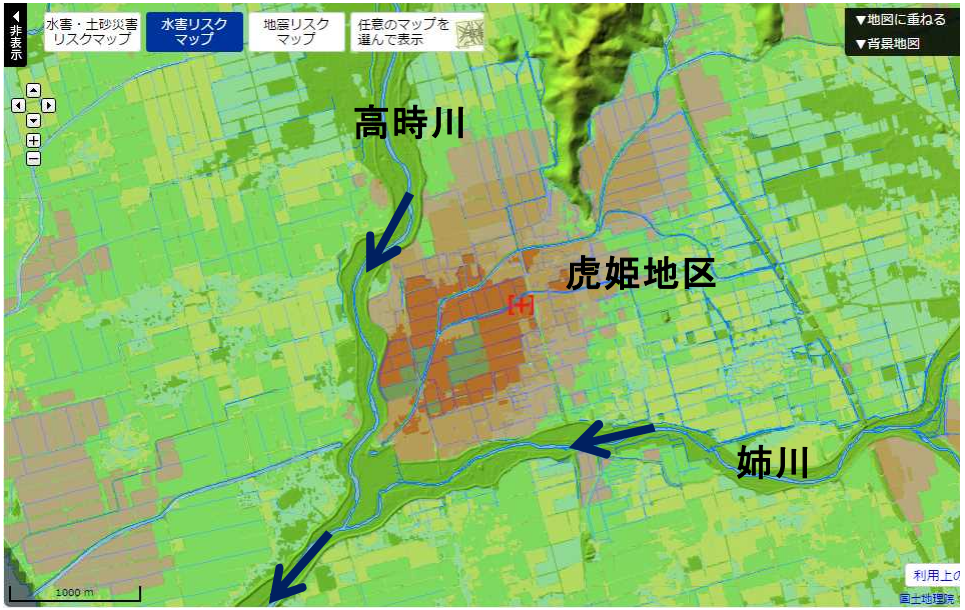


防災情報マップより

地先の安全度マップ 流体力図 200年確率降雨強度（時間最大131mm程度） 46



流体力：水などの流れが引き起こす力に相当する水理量。
「集中豪雨」による被害を防ぐには、浸水の範囲や水深とともに流体力を考慮に入れることが大切

姉川と高時川の合流地点

47